

教育相談に関するマネジメントの推進

神田外語大学客員教授 嶋崎 政男



独立行政法人教職員支援機構

教育相談の3つのマネジメント

1. カウンセリング・マネジメント

教育相談の基本姿勢・
考え方の普及・充実

2. カリキュラム・マネジメント

開発的教育相談・心の健康
教育の計画立案・実施

3. コーディネート・マネジメント

教育相談体制の確立

関係機関等との連携

協働体制の構築・推進

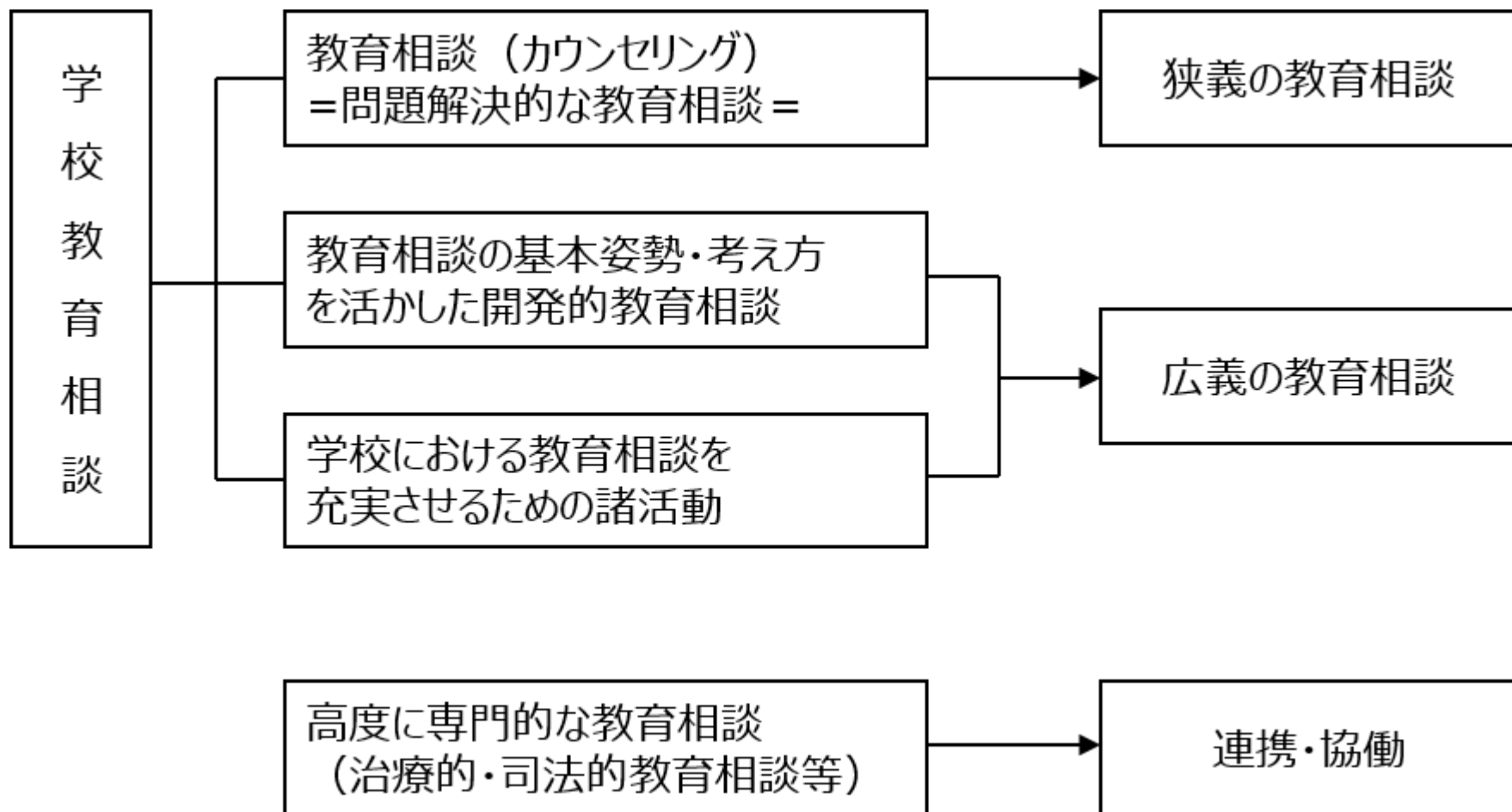
1 カウンセリング・マネジメント

1 カウンセリング・マネジメント

(1) 教育相談の位置付け

「主に集団の場面で必要な指導や援助を行う**ガイダンス**と、個々の生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行う**カウンセリング**の双方により、生徒の発達を支援すること」

(新学習指導要領「総則第4」)



1 カウンセリング・マネジメント

(2) 教育相談の基本的な姿勢・考え方

【参考】

「児童に関するすべての措置をとるに当たっては（略）**児童の最善の利益**が主として考慮されるものとする」

（「児童の権利に関する条約」第3条）

①スキル（技）よりマインド（心）

②客観的事実より心理的事実

子供の立場に立って心理的事実を受容し、大人の立場に戻って客観的事実を支援する。（心理的事実の受容と誤った客観的事実の非共感）

1 カウンセリング・マネジメント

(2) 教育相談の基本的な姿勢・考え方

③ マイナスよりもプラス

「誰も必ず良い点をもつ」： 良い所探し、例外探し、リフレーミング

【参考】

「誰もがみんなピカッと光るものをもっている」

「すべての子どもに光がある。その光を見つけてあげなければ、その光に気づいてあげなければ」(山田暁生)

「ああいう子どもにこそタカラモノは一杯つまっているもんだ」(『兎の眼』より)

1 カウンセリング・マネジメント

(2) 教育相談の基本的な姿勢・考え方

④原因追及より解決志向

「叱責・反省（罰）・謝罪」の前に「吐露」、
加害者視点から解決志向へ

⑤「聴く」より「訊く」

「5つの質問」

（何をしたの？ どうなった？ どう思った？ どうする？ これからは？）

⑥「かたくなな専門性」より

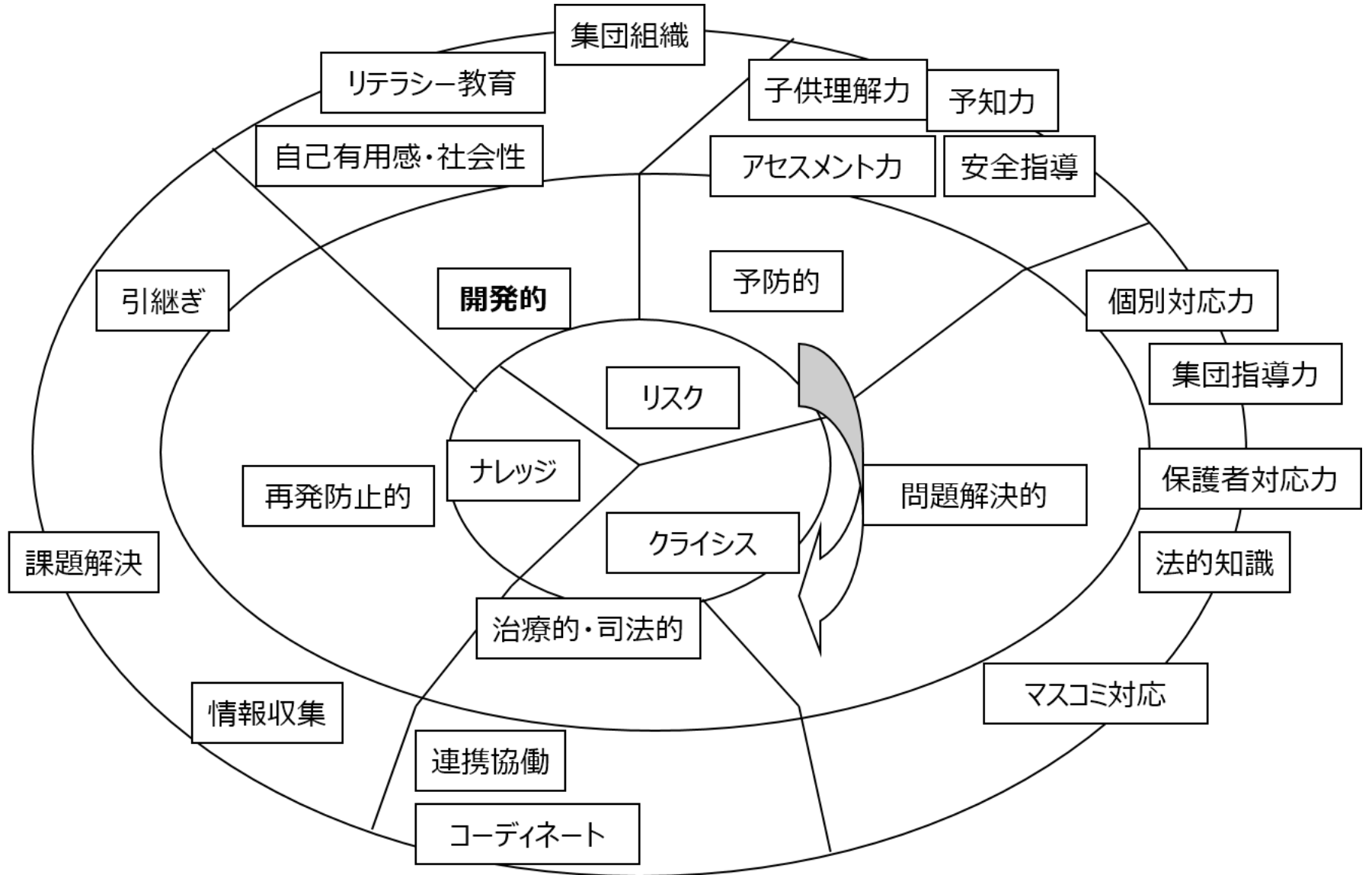
新たな教育課題に柔軟に対応できる「雑食性」

2 カリキュラム・マネジメント

2 カリキュラム・マネジメント

- (1) 教科横断的・P D C Aサイクル確立・人的物的資源の活用
- (2) 教育相談における今日的課題を踏まえた学校教育相談全体計画
- (3) カウンセリング教育、キャリア教育、心理健康教育等を見据えた教育相談体制の確立。
- (4) 教育課程編成における生徒指導との整合性
- (5) 心の健康教育（心理教育プログラム）の位置付け・推進
- (6) 教育相談研修会の企画・運営

* 開発的教育相談の充実



3 コーディネート・マネジメント

3 コーディネート・マネジメント

(1) 教育相談体制の確立

①教育相談体制の構築：

教育相談独立型、分掌所属型、教育相談委員会型

②役割・機能によるマトリクスの作成

- ・ 管理職、教育相談担当、各主任、養護教諭、担任、授業者等
- ・ 開発的・予防的・問題解決的・治療司法的・再発防止的

3 コーディネート・マネジメント

(2) 関係機関等との連携・協働

- ① 日常の協働連携：サポートチーム、チーム学校
- ② 関係機関の機能熟知と人間関係の深化
- ③ エコマップの作成

(3) 事例研究（ケーススタディ）と 事例検討（ケースカンファレンス）

- ① 「ねらい」の明確化
- ② 短縮事例法、インシデント・プロセス法等

3 コーディネート・マネジメント

(4) コーディネーター

(連携・協働の連絡・調整役 = 機軸役) の役割

①「情報連携」から「行動連携」へ

②校内のトップマネジメントチーム (TMT) の要

③求められる資質・能力 = 「カッコウ」

C = カウンセリング (コーチング) : 聞く・聴く・訊く

A = アセスメント (見立て)

C = コラボレーション (連携・協働)

C = コンサルテーション (情報提供・助言)

C = コンプライアンス

(法令・倫理の遵守・法的な考え方・責任履行)

O = アウトリーチ (訪問支援)

おわりに

*『生徒指導の手びき』（文部省、1965年）

「教育相談を専門に担当する者（相談教師、学校カウンセラー）は、人格的と知識・技術の両面が必要。人格的特性としては人間的な暖かみ、自己を受容し他人を受容する態度が成熟していること、こどもに対する愛情と信頼感が豊かで（略）最も重要なことは（略）実践家でなければならない」

教育相談に関するマネジメントの推進

神田外語大学客員教授 嶋崎 政男



独立行政法人教職員支援機構